

平成 30 年 7 月 5 日

埼玉県知事 上田清司 様

埼玉県議会 立憲・国民・無所属の会
代表 浅野日義英

緊 急 要 望 書

東京都目黒区で、5歳の船戸結愛ちゃんが平仮名で「もうおねがい ゆるして ゆるして」とノートに書き亡くなりました。父親から繰り返し暴力を受け、ろくに食事も与えられず、死亡時の体重は5歳児の平均20kgを大きく下回る12kgしかありませんでした。

この事件を受け、上田知事は、埼玉県は児童相談所が把握した虐待情報をすべて、同県警と共有する方針を表明しました。私たち会派は高い評価をしています。

しかしながら、児童虐待通告件数が減らず、悲惨な重大事案が依然起きています。

すべての子供は、深い愛情に包まれた、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。

子供の健やかな成長に影響を及ぼす子ども虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題と言えます。

私たち会派は、埼玉県に対し、緊急に次のことを強く要望します。

- 行政のみならず、民間団体などとも手を結び、社会全体へ子供虐待防止の啓発をいっそう進めること。
- 児童相談所、市町村などの相談体制の強化をすること。
- 虐待を受けた子供や親に対する心のケアなどの支援をすること。
- 虐待を受けた子供を一時保護する施設については、一人ひとりの状況に応じた安全確保やアセスメントが適切にできるよう、受け入れ枠の拡充や環境整備に努めること。
- 児童養護施設を退所した子供が、愛ある温かい社会に包まれて、自立した人として生活できるよう、就労や住居などの支援を行うこと。

以上